



巻頭言

歯科麻酔科

講師 / 幸塚 裕也
こうづか ゆうや



歯科麻酔科は主に歯科口腔外科の手術における麻酔を専門とする歯科麻酔科医（歯科医師）の所属する診療科です。歯科麻酔という言葉にはあまりなじみがないかもしれませんが、歯科では虫歯の治療だけではなく、親知らずの抜歯から口腔がんの切除、顎の骨折の修復といった外科的な手術まで多様な治療を行います。とくに外科的な手術を行う場合は、患者さんの負担を軽減するために、静脈内鎮静法（点滴から鎮静薬を投与して不安を軽減し、リラックスして手術を受けていただく方法）や、全身麻酔（完全に意識のない状態で手術を受けて頂く方法）を利用します。**歯科麻酔科医は麻酔の技術を利用して、歯科治療や口腔外科の手術をより多くの患者さんに安全かつ快適に受けいただくための専門家です。**

日本では歯科治療に全身麻酔を利用することが広く知られておらず、また歯科麻酔を専門に行う歯科麻酔医が少ないため、米国やカナダに比べると全身麻酔を歯科診療に応用するのは充分ではないのが現状です。当院は2014年の開院当初から歯科麻酔科医が在籍しており、手術件数の増加とともに歯科麻酔医も増員されています。現在は日本歯科麻酔学会専門医、認定医を含む6名体制となり、歯科麻酔を提供するのに十分な体制が整っています。**2020年の歯科麻酔管理件数は291件、2021年は331件と年々増えています。**

歯科でレントゲンを撮ると、症状がないのに親知らずの抜歯をすすめられることがあります。でも手術と言われると少なからず不安になり、そのままにしている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？
そんな時にも私たち歯科麻酔科がお役に立てます。

歯科を受診される患者さんの中には、歯科治療に恐怖心を抱かれています。大きな病気を抱えている方、あるいは口の中に物が入ると気持ち悪くなってしまう方など、通常の方法では歯科治療を受けられない方がいらっしゃいます。このような患者さんの手術でも、静脈内鎮静法や全身麻酔を利用することで、安心して快適に手術を受けて頂くことができます。

口の中の状態は健康のバロメーターといっても過言ではありません。**口の中を健康に保ち、毎日口から美味しく食事を摂ることはとても大切です。**私たちは口腔外科歯科医師、麻酔科医師、関係各科医師や病院スタッフと幅広く連携を取りながら、歯科麻酔を通じてみなさまの健康増進に貢献していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第99号のトピックス

- 巻頭言（歯科麻酔科）
- リハビリテーション室 言語聴覚士紹介
- 公開講座のご案内
- セミナー開催
- ご意見ご要望
- 編集後記

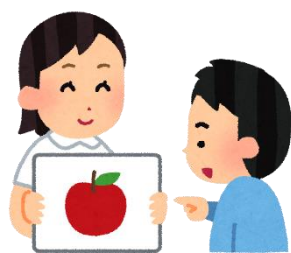
皆さんは言語聴覚士という職業をご存じでしょうか？言語聴覚士は理学療法士（PT）や作業療法士（OT）と同じく、リハビリテーション（またはハビリテーション）を生業とする職業です。略称としては ST（Speech-Language-Hearing Therapist）が用いられます。

リハビリと言えば、“歩く”、“持ち上げる”のように身体のことを想像する方が大多数だと思いますが、私たち ST は以下の表にあるような **コミュニケーション**に関わる領域のリハビリや、**飲み込み**（摂食・嚥下障害）に関するリハビリを医師の指示の下でおこないます。



言語聴覚士 / まつだ ゆうき 松田 祐貴

対象となる症状	症状の内容	主な原因
失語症	聴く、話す、読む、書くといった言葉の働きに不具合が生じるなど	脳卒中、頭部外傷、認知症
高次脳機能障害	記憶障害、注意障害（ミスの増加、同時並行作業ができない）、遂行機能障害（計画性がない）、社会的行動障害（暴力・暴言、自己中心的になる）など	脳卒中、頭部外傷、認知症
構音障害	音を作る器官（唇、舌、喉など）の形態的異常や機能的異常により、うまく発音ができないなど	脳卒中、がん、加齢変化
音声障害	声帯の異常により声の質が変わる（ガラガラする、カサカサする）、声が小さく・大きくなる、声が高く・低くなるなど	脳卒中、がん、頸部・心臓の手術
摂食・嚥下障害	食べ物を認識してから口を経由して胃の中へ送り込むまでの障害	脳卒中、がん、加齢変化
聴覚障害	耳が遠くなる、違う音に聞こえるなど	脳卒中、加齢変化
発達障害	発達の遅れ、他者との関係作りが苦手、特筆して読み書き計算が苦手など	遺伝・環境的要因 原因不明



言語聴覚士は 1997 年に国家資格として制定されました。現在日本にはおよそ 3 万 8000 人の有資格者がいるとされていますが、まだまだ少ないのが現状であり、言語聴覚士がいない病院もしばしば見られます。

当院での言語聴覚士配属も 2019 年度からと、まだ 3 年経過したばかりですが、脳神経内科・外科の患者さんをはじめ、呼吸器系疾患や心臓系疾患、がん疾患など、さまざまな患者さんのリハビリの依頼をいただいております。

チーム医療の一員として適切に関わっていけるよう、専門知識・技術の向上を図りながら日々業務に励んでいます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

Pick up

公開講座のご案内

昭和大学江東豊洲病院では、住民の皆さんにわかりやすく医療の知識を深めていただくために、公開講座を開催しています。

今年度もホームページ上で動画を公開し、WEB開催の形式になっています。
ぜひご視聴ください。

第14回公開講座（WEB開催）



- ◆ テーマ 「人生100年時代の心臓を診る」
 - ◇ 心臓手術で脳梗塞を予防する 心臓血管外科 山口教授
 - ◇ 心臓の声を聴く 循環器内科 若林准教授
- ◆ 掲載期間 令和4年7月1日（金）～9月30日（金）
- ◆ URL <https://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>



Pick up

七夕イベント開催



七夕という企画を通じて、院内生活を送られている方をはじめ、当院を利用される方に季節感を感じていただきたく、6月27日～7月11日まで、1階ロビーに笹飾りを設置します。

ご来院の際は、ぜひ願い事をお寄せいただき、たくさんの短冊で笹を飾ってください。



今年の笹飾りの様子

ご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>5月20日に昼食で提供された献立のさつまいものバター煮がものすごく美味しかったです！2015年に入院していた時よりも食事がどれも美味しく感じました。お世話になりました。</p> 	<p>お褒めのお言葉をいただきありがとうございます。当院の食事に満足され大変嬉しく思います。入院中の患者様にとってお食事は楽しみの一つであると思いますので、栄養バランスはもちろんのこと、味・彩りや見た目、温度管理を徹底し、今後も安心・安全な食事の提供に、スタッフ一同取り組んで参ります。</p>  <p>回答部署：栄養科</p>
<p>レントゲンの待ち時間について受付番号を呼ぶ声が小さく、自分の順番に気づきません。遠くまで気づく声で、受付番号を読んで欲しいです。</p>	<p>この度は、貴重なご意見ありがとうございます。通常は受付番号でお呼びし、返事がない時はお名前でお呼びしております。現状では大きな声でお呼びしておりますが、今回、このような状況がありましたので、随時音量を調整しお声かけいたします。</p> <p>回答部署：放射線技術部</p>

編

集

後

記

雨上がりの青空は夏の訪れを感じさせます。梅雨明けももうすぐですね。

七夕の日には笹の葉にみんなの願い事がたくさん飾られています。

当院でも毎年笹と短冊を用意しており、たくさんの方が願い事を書いてくださっています。短冊の色には意味があることをご存じでしょうか。紫は学業、赤は両親や先祖への感謝、白は規則や義務を守る達成、黄色は人間関係、青は成長と、色それぞれの意味に沿った願い事を書けばより願い事が叶いやすくなるといわれています。今年の七夕はぜひ色の意味を考えながら願い事を書いてみてはいかがでしょうか。

7月は日増しに暑さが本格的になります。夏本番に備えてしっかり栄養と睡眠を摂り、体力を備えましょう。マスクを着けて過ごすことが辛い季節となるため、日頃から熱中症対策としてこまめに水分補給を心掛け、新型コロナウイルスに負けないよう夏を乗り切りましょう。

薬剤部 伊藤 綾花



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

Showa University Koto Toyosu Hospital